

地域×スポーツクラブ産業研究会
第 8 回事務局説明資料

2021年2月19日
経済産業省 商務・サービスグループ
サービス政策課

目指す姿（確認）

- 目指す姿である以下のエコシステムに向け、6つの論点を中心に、これまでの研究会で指摘された課題について考察を深める。



これまでにいただいたご意見：指導者養成

- 子どものスポーツ環境の質を維持・向上させるために、指導者の質を担保する仕組みと、それに見合う対価について検討が必要である。

(第1回研究会)

- エビデンスに基づいて第三者による指導者の資質や指導内容の評価ができると、それに見合う対価をもらうことが認知される。

(第3回研究会)

- 研修する機関等、サービスの品質や指導員の品質を管理できるところ、維持できるところがあると望ましい。
- 各競技団体からセカンドキャリアとして供出される人材に関しても、このような所で共通の指導のノウハウを学び、地域の部活動などで指導員をやっていただくという形で、学校と各競技団体からとそれぞれ全く違うルーツだが、それを共通の物差しで整えたうえで、地域の運動機会のサービス提供をできるようにすると、全国的に水平展開できる。

これまでにいただいたご意見：地域スポーツクラブの更なる付加価値

- 持続可能なスポーツ環境が発展していくには、スポーツに限らず分野横断的に対価に見合う付加価値が生みだされる事業環境が必要。

(第3回研究会)

- なぜスポーツを嫌いな子どもがこんなにいるのかを考えてみることも必要。体育がきっかけでスポーツが嫌いになるなどの問題解決していくことが、地域スポーツ、部活動、今後の未来を見据えたスポーツを考える上では必要。

(第3回研究会)

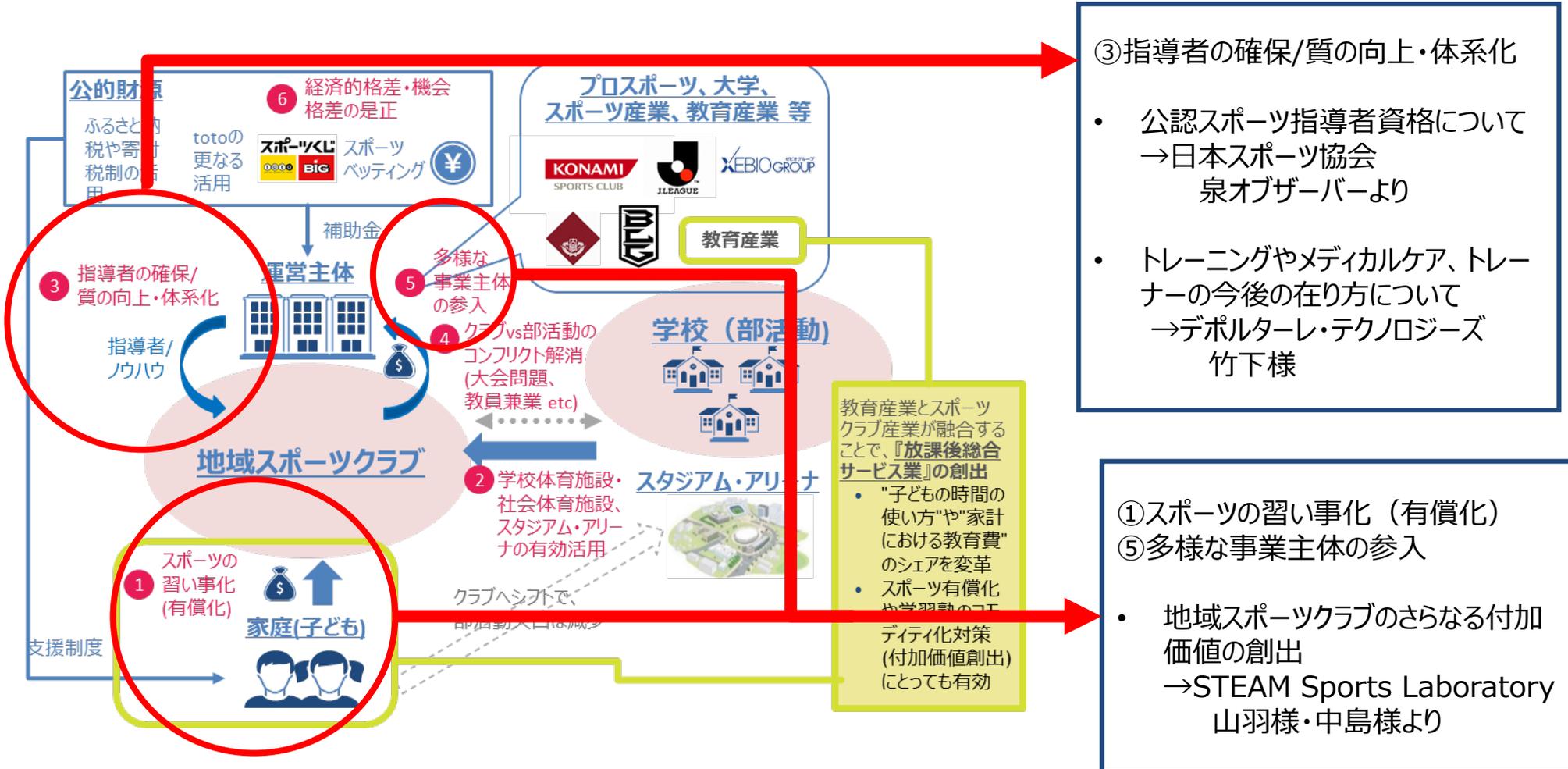
- 教育という要素があったり、未来の教室であったり、スポーツと教室であったり、サイエンスなどの掛け合わせなどチャレンジできる場にもなればよいと思う。

(第5回研究会)

- 教育・スポーツを含む領域できちんと稼ぎに行くところに舵を切らないと、現状はなかなか解決されないのではという気がしている。

本日プレゼンいただく内容

- 今回（第8回）は、これまで頂いたご意見を踏まえ、以下の2点についてお話しを伺う。



- ③指導者の確保/質の向上・体系化
- ・ 公認スポーツ指導者資格について
→日本スポーツ協会 泉オブザーバーより
 - ・ トレーニングやメディカルケア、トレーナーの今後の在り方について
→デポルターレ・テクノロジーズ 竹下様

- ①スポーツの習い事化（有償化）
 ⑤多様な事業主体の参入
- ・ 地域スポーツクラブのさらなる付加価値の創出
→STEAM Sports Laboratory 山羽様・中島様より

本日共有・議論したい主な論点

<指導者養成>

- 指導者の質を担保する仕組みとしての既存制度（公認スポーツ指導者資格）の到達点と、普及に向けた課題
 - ・スポーツ指導者育成プログラムとテクノロジーの融合
 - ・個別競技指導と、コンディショニング、マインドセットの要素
 - ・暴力や性犯罪などの抑止に向けた知恵

<地域スポーツクラブとしての更なる付加価値創出>

- 地域スポーツクラブと教育産業（オンライン・オフラインとも）の掛け合わせによるサービス創出の課題。
 - ・世界的な教育潮流である「学びのSTEAM化（Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics）」とスポーツの相性
※経済産業省「未来の教室」プロジェクト、文部科学省「GIGAスクール構想」との結節点